舞台は関西へ
～ワールドマスターズゲームズ～

おおむね30歳以上であればだれでも参加できる、４年に１度の生涯スポーツの国際総合競技大会「ワールドマスターズゲームズ」。2021年大会は関西で開催される。
直前の大会にあたる2017年のオークランド大会に、関経連を中心とする関西経済界と関西ワールドマスターズゲームズ2021組織委員会は、訪問団を派遣。大会旗を引き継ぐとともに関西大会を大いにアピールした。今号ではオークランド視察を通して大会の魅力を紹介。きっと皆さん４年後が待ち遠しくなるはず。

ワールドマスターズゲームズとは

ワールドマスターズゲームズ（WMG）は、国際マスターズゲームズ協会（IMGA、本部：スイス・ローザンヌ）の主宰により４年に１度、オリンピックの翌年に開催される、スポーツ愛好者を対象とした世界最高峰の生涯スポーツの国際総合競技大会。1985年のカナダ・トロントでの開催を皮切りに、今年のニュージーランド（NZ）・オークランド大会で９回を数える。

WMGの一番の特徴は、おおむね30歳以上という年齢のみが参加基準である点。選抜基準や競技資格などはなく、参加料を払って登録さえすれば、だれでも参加可能で、複数競技・種目へのエントリーも認められている。実際、70歳・80歳代の参加者や一人で何種目にも出場する元気な選手も多いのだとか。参加者は男女・年代別（通常５歳ごと）にメダルを争う。スポーツ愛好者のみならず元プロ選手や元オリンピック選手なども出場しており、キャリアを問わずさまざまな選手と競い合えるのはWMGの大きな魅力の一つである。

オークランド大会閉会式

WMG2017オークランド大会

オークランド大会には、およそ100の国・地域から選手やその家族等を合わせ約28,000人が参加。ちなみに最年長の参加者は101歳！日本からは383人がエントリーした。４月21日から30日の10日間の開催期間中に陸上競技、競泳、バスケットボールなど28競技45種目が行われた。

開会式の様子

関経連を中心とする関西経済界と関西WMG2021組織委員会（会長：森詳介 関経連会長（当時））では、閉会式での大会旗の引き継ぎ、大会の実施状況や街全体の取り組み等の視察、WMG2021関西（以下、関西大会）のPRなどを目的に、４月27日～５月１日の日程で約150名からなる訪問団を派遣。訪問団には関経連の正副会長８名のほか、大商副会頭、関西経済同友会の両代表幹事等も参加した。４月19日～23日には関西広域連合の構成府県政令市の知事等行政関係者が開会式などを視察しており、関西をあげて2021年大会を成功させようという機運が高まっている。

WMGはこんなに楽しい！

ここからは訪問団の視察の様子などをまじえてWMGの雰囲気を少しご紹介。

オークランド到着後、訪問団の初の公式行事はカイ・ホルム IMGA会長らとの夕食会（４月28日）。関西大会への引き続きの協力要請に対し、今も毎日プールで1,000m泳ぐという、ご自身もアスリートのカイ・ホルム会長は「成功に向け、われわれも共に協力していく。関西大会はWMG初の広域開催となるが、日本の組織力や準備の周到さには定評があるし、関西は交通機関が発達しているので心配していない。WMGとしても学ぶことが多いと思う」と激励。終始和やかな懇談となった。

■競技にはどんなレベルの選手も楽しめる工夫が

ラグビー・ＮＺ代表オールブラックスの聖地、イーデンパークでの開会式で幕が開いたオークランド大会。翌朝の10kmロードレースに出場した鈴木大地スポーツ庁長官は見事完走。60歳以上の部では、滋賀県から参加の曽野政男さんが同大会日本人初の金メダルを獲得し、幸先の良いスタートを切った。曽野さんは報道陣の取材に対し、「出会った海外の選手たちと交流できるのが何より楽しい。４年後の関西大会に皆さんも参加して、私と同じように幸せな気持ちになってもらえたら」とコメント。心から大会を楽しんでいることが伝わってきた。

大会マスコット「スフラ」も登場し、関西大会をPR

関西WMG2021組織委員会では、大会の交流拠点であるクイーンズワーフにブースを出展し、関西大会のプロモーションを実施。桜のパネルを背景に、各国の参加者たちにインタビューを行った模様を、フェイスブックを通じて世界に発信した。

次回大会が関西で開催されることはよく知られており、スタッフへの質問も参加前提の具体的なものが多いといううれしい結果に。

日本人選手やボランティアに着用してもらった関西大会オリジナルＴシャツも好評で「今、売っていないの？」という問い合わせもあったほど。

参加選手の交流も盛ん（右が曽野さん）

バドミントンや卓球といった対戦競技については、競技レベルに応じてクラスが分けられ、力が拮抗した選手同士で対戦できる工夫も。なので“自分は初心者だから参加は無理”なんて気おくれする必要は全くなし。国体並みのハイレベルから週末プレーヤー、初心者レベルの試合まで、レベルは違えどだれもが真剣勝負を楽しめる。参加者の多いバドミントンなどは朝から晩まで試合スケジュールがびっしりだが、試合後には選手たちが審判もまじえて記念撮影したり、連絡先を交換したりするひと時も。同じスポーツを愛する者同士が国際的に交流を深められる場となっている。

訪問団メンバーの応援にも熱が入った卓球決勝戦（左が脇村さん）

卓球では関西経済同友会会員の脇村利恵子 平和運送会長が決勝戦に進出。100名近い訪問団メンバーの応援を力に、セットカウント０－２からの大逆転で金メダルを手にした。目の前で繰り広げられる熱戦に刺激を受け、「次は自分も」と関西大会に名乗りを上げるメンバーも多数いたとか。

■実はこちらがメインの人も？ マスターズアスリートたちの楽しみ

アスリートたちの楽しみは競技だけに留まらない。大会期間中、伝統文化や音楽、エンターテイン

スポーツメジャーイベントの効果とは ――ATEEDセミナー

４月30日にはオークランド大会の総費用3,585万NZドル（約28億円）の約３分の１を負担する、オークランド市の外郭団体「オークランド観光・イベント・経済開発局（ATEED）」が訪問団向けにセミナーを開催。日本ニュージーランド経済委員会のイアン・ケネディ委員長（元駐日NZ大使）にも出席いただき、大会の経済効果やWMG初となる参加者向けのビジネスプログラムなどについてヒアリングした。

大会のGDPへの経済効果は約3,000万NZドル、大会参加者の総宿泊数は約24万4,000泊となっており、このような大規模イベントをオークランドで開催することが可能であることを世界にPRすることに力を入れたとの説明を受けた。

訪問団を代表し、松本正義 関経連副会長（当時）からセミナー開催に対する謝意を述べるとともに、2025年国際博覧会の大阪・関西への誘致についても支援を要請した。

イアン・ケネディ委員長

メント等をテーマにしたさまざまなプログラムが催され、競技仲間や家族、開催地の市民などと思い思いに過ごせるようになっている。競技に出場する選手のみならず家族などの同伴者も十分に楽しめる、これがWMGのもう一つの魅力。

オークランド大会では2011年のラグビーワールドカップの際に再開発されたクイーンズワーフをレガシーとして活用し、「エンターテインメントハブ」と名付けたイベントスペースを設置。飲食屋台やキッズゾーンなどもあり、昼前から深夜までその場に集った人たちが交流できる場となっていた。会場にはDJやバンド演奏も入り、さながら音楽フェスティバルの様相。アスリートたちはメダルを誇らしげにかけて記念写真を撮ったり、以前の大会で仲良くなった仲間と旧交を温めたり、新たな友情を育んだりと、アルコール片手に交流を楽しむ。それは例えるなら週末、気の合う仲間とスポーツした後に飲みに行く感覚。「競技もいいけど、これが楽しくてWMGに参加する」というアスリートたちに共感する方も多いのでは。

いかがです？「WMGって素人の私でも参加できそう」「何だか楽しそう」とワクワクしてきませんか。この大会が４年後、関西にやって来ます。

エンターテインメントハブで、
夜も大盛り上がり

いよいよ舞台は関西へ

■閉会式にて大会旗が関西に

４月30日、マオリのハカのパフォーマンスやバンド演奏が会場を大いに盛り上げて始まった閉会式。ＮＺのスポーツ担当大臣やオークランド市長、オークランド大会会長のジョン・ウェルズ卿らのスピーチの後、いよいよ大会旗の引き継ぎセレモニーへ。ジョン・ウェルズ卿からカイ・ホルムIMGA会長へ、カイ・ホルム会長から森会長へと大会旗が手渡され、

ワールドマスターズゲームズ2017オークランド大会を訪問して

松本　正義 関西経済連合会会長

４月27日～５月１日の日程で総勢150名が、ニュージーランド・オークランド市を訪問、ワールドマスターズゲームズ2017オークランド大会の各競技を視察するとともに、閉会式に参加し大会旗を引き継ぎました。また、オークランド観光・イベント・経済開発局との交流等もあり、大変有意義な訪問となりました。

国際マスターズゲームズ協会カイ・ホルム会長をはじめ関係者の皆さま、訪問団に参加いただきました皆さま、そして本訪問にご尽力いただいた皆さまに、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。当地はあいにくの雨天でしたが、さまざまな国、年齢の方々が真剣に競技されている姿を目の当たりにし、あらためてスポーツの持つ力を実感した次第です。

ワールドマスターズゲームズは、30歳以上であれば参加可能です。「健康経営」「スポーツを通じた国際交流」といったキーワードに共感いただき、関西大会に多くの方々が参加されることを祈念します。

４月28日夕食会にてカイ・ホルム会長（左）と

大会のバトンは関西に託された。引き続いてオークランド大会から関西大会への激励の証しとして、マオリ伝統の彫刻が施されたオールが贈られた。返礼として関西大会からは大阪府の伝統工芸品である堺の手描きのこいのぼりを贈呈。互いの伝統の逸品を交換し、親交を深めた。

次期大会のホストとして演台に立った森会長が「Let's meet again in Kansai four years from now! Thank you!（4年後に関西で会いましょう）」とスピーチを締めくくると、会場からは大きな歓声が上がった。参加者たちは関西での再会を約束し、お祭りムードに包まれたオークランド大会は幕を閉じた。

多くのメディアに取り上げられ、関西大会の認知度向上に寄与するなど、当初の目的を果たした訪問団も帰国の途についた。

閉会式ではNZ・日本を象徴するパフォーマンスも

■ワールドマスターズゲームズ2021関西に向けて

WMG史上初のアジア地域での開催、史上最多の種目が実施されるということで、これまで以上に多くの国や地域から多数の参加者が集うことが期待される関西大会（下表）。少しでも気になった皆さん、まだまだ間に合います。さあ今からトレーニングを始めてください。

当会では関西大会の成功に向け、今後も関西WMG2021組織委員会と協力していく。また、関西観光本部とも連携し、2019～2021年に控えるゴールデン・スポーツイヤーズに向け、訪日外国人の受け入れ促進や関西ブランドの向上につながる活動を進めていく。（産業部 服部好志）

ワールドマスターズゲームズ2021関西の概要

開催期間：2021年5月15日（土）～5月30日（日）の16日間
競技種目：32競技55種目（史上最多）
開催地：関西各地域（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市）
目標参加者数：約50,000人（国外参加者 20,000人、国内参加者 30,000人）
参加者申込期間：2020年2月～2021年2月（予定）
大会テーマ・コンセプト：スポーツ・フォー・ライフの開花（The Blooming of Sport for Life）
組織委員会HP：http://www.wmg2021.jp/　＊大会の詳細についてはHPをご参照ください。

ワールドマスターズゲームズ2021関西

参加基準は年齢のみ!（概ね30歳以上）

誰でも参加できるスポーツ愛好者の世界最大の祭典

ワールドマスターズゲームズが関西にやってくる!!

大会マスコット スフラ ~Sport for Life~

アジア初開催 / 32競技55種目のプログラムに複数エントリー可能 / 約5万人が参加予定

開催期間 2021年5月15日（土）～5月30日（日）の16日間

詳しくはウェブ・Facebookで http://www.wmg2021.jp/ WMG2021 検索

関西ワールドマスターズゲームズ2021組織委員会事務局
〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル23F

お問い合わせ kansai-wmg@wmg2021.jp
ホームページ http://www.wmg2021.jp/
Facebook http://www.facebook.com/wmg2021/

共催：公益財団法人日本体育協会　後援：スポーツ庁　公益財団法人日本障がい者スポーツ協会

WORLD MASTERS GAMES 2021 KANSAI

THE FLOWER OF JAPAN KANSAI